

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Comparison of treatment modalities for recurrent basal cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル	再発性基底細胞癌に対する治療法の比較	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ17-3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ III ）	
	Pubmed ID	424458	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Plastic and Reconstructive Surgery	
	雑誌 ID		
	巻	63	
	号	4	
	ページ	492-496	
	ISSN ナンバー	pISSN: 0032-1052 eISSN: 1529-4242	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1979	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Sakura CY	Roswell Park Memorial Hospital
	その他著者 1	Calamel PM	
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	再発性基底細胞癌に対する複数の治療法の有効性を比較検討する	
	研究デザイン	非ランダム化比較試験	
	セッティング	米国の 1 総合病院	
	対象者	再発性基底細胞癌 97 例（多発例は除く）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 14 ）	
	介入（要因曝露）	1) 放射線療法 35 例（病変の境界より 1cm 以上含めて、45～55Gy） 2) Mohs 法 40 例（固定法） 3) 外科的切除 20 例（切除マージンの記載なし、25%は術中迅速病理併用） 4) 治療なし 2 例 に非ランダムに割り付け	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	再々発	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	5年以上の経過観察期間で、最終的な再々発率は放射線で 11%、Mohs 法で 12%、外科的切除で 5%であり、症例全体では 9.7%であった。	
	結論	再発性基底細胞癌に対しては、放射線療法、Mohs 法、外科的切除のいずれの治療も有用であった。	
	備考		
レビューワー コメント	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（III） 治療法を割り付けた基準が示されていないために、これら 3 通りの治療法による今回の再々発率を単純に比較することは出来ないが、フォロー期間も 5 年以上とされておりデータの信頼度は高い。本研究における Mohs 法は固定法であるが、現在欧米で普及している Mohs 法は凍結組織を用いるものが標準となっている。	